

3-2 物性研究将来計画小委員会の 活動報告

物性研究将来計画小委員会

日本学術会議で議論されている「未来の学術振興構想（仮称）」に物性グループとして積極的に関与して物性研究の将来像を提案していくため2022年3月19日の拡大物性委員会で本委員会の設置が承認された。

以前のマスタープランWGの活動を参考にするとともに、常設の委員会として物性研究の将来像についての検討・提案を行っていく。

当面は、2022年12月公募締切予定の「未来の学術振興構想（仮称）」への提案についての活動を行う。

メンバー：

委員長 遠山貴巳（東理大理）

委員 堀田貴嗣（都立大理）

網塚 浩（北大理）

森 初果（東大物性研）

有馬孝尚（東大新領域）

播磨尚朝（神戸大理）

青木勇二（都立大理）

野尻浩之（東北大金研）

東 正樹（東工大フロンティア研）

香取浩子（東京農工大工）

野原 実（広大先進理工）

任期：物性委員会幹事・事務局と同じ任期として2024年9月30日までの予定。

幹事・事務局の改選とともに新たに選任。

物性研究将来計画小委員会の活動

2022年度：「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募への対応

2022年10月8日（土）13時から、物性委員会主催「物性研究の中長期研究戦略について」をZoom開催。

主として物性関係の提案者が互いに内容を発表し、情報交換するとともに物性コミュニティからの意見を反映することで、よりよい提案策定の機会となる場を提供することを目的とする。

支援レターの希望があった場合は都度対応した（こちらについては後述）。

2023年度：

① ロードマップ2023への対応

2023年6月17日（土）13時から、物性委員会主催「ロードマップ2023について」をZoom開催。

目的は2022年の「物性研究の中長期研究戦略について」と同じ。

サポートレター（要望書）の希望があった場合は対応。

レーザー，強磁場，物性科学連携研究体，放射光が希望。

② 国際共同利用・共同研究拠点認定に関する要望書に対応

京大基研，東大物性研，東北大金研が希望。

2024年度：活動の総括

サポートレター希望への対応

国際共拠点の支援レターに関連して、2024年2月の幹事会で確認。

新規認定の支援レター：京都大学基礎物理学研究所，東京大学物性研究所
中間評価の支援レター：東北大学金属材料研究所

段取りの確認：

支援レターを希望する組織と協力して、支援レター案を作成。
幹事会に案を出して、了解を得る。

なお、サポートレターは物性委員会委員長名で出すので、物性委員会委員長が対応する。（小委員会委員長に相談しつつ、責任は物性委員会委員長で。）